

町内会が抱える課題

これからのまちづくりは、課題を抱えている人に対処するだけではなく、そこに住む地域の人たちが互いに助け合うことが必要です。

しかし、少子化や高齢化、一人暮らし世帯の増加などの社会情勢の変化を受け、近年、地域の触れ合いや隣近所の連帯意識が希薄になっていると言われています。

そのような社会の変化の影響を受け、地域が抱える課題にも変化が出てきています。

中でも、大きな問題とされるのが、町内会に加入しない方や加入していても活動に参加しない方が多くいることです。



▲グラフ『町内会加入率』

町内会の加入率は、平成22年4月では74・9割と低迷しています。

未加入は、単身や若年夫婦の世帯、アパートの入居者など主に若年者に多く見られるのですが、若い方の未加入は、町内会に新たな問題を生み出しています。

町内会運営の中心として活躍している役員の高齢化が進む中、次の担い手として期待される若者が育たないということなのです。

町内会活動の衰退は、その地域の衰退を意味します。

つまり、未加入問題は、近い将来、皆さんが安全で安心して暮らすまち

を揺るがす事態となり得るのです。

活動に参加して 知ることが大切

「隣近所の方と関わりを持たなくても生活できるし、誰にも迷惑を掛けない。だから、私は町内会に参加しない」

「町内会に入っても、何も得ることがない」

「困ったことがあったら市役所に言えばいい」

そうお思いの皆さん。

自分の地域の将来を考えたとき、自分には関係ないメリットがない

それで良いのでしょうか？

町内会への参加は、自らが住む地域の安全や安心を自らの手で作り上げるための一つの行動なのです。

まずは入会して、行事などに参加し地域を知るところから始めてみませんか。

登別市連合町内会
会長 山田正幸 さん

まずは活動への参加が大切